



さまざまな体験を通して学習できる「わんぱく探偵団」は年間を通じて開催



町民手づくりの「パークゴルフ場」愛好会も発足しました



昨年の洋上風車シンポジウムでは瀬棚商業高等学校の生徒が作成編集したビデオで研究発表

未来を担う子どもたちや
まちづくりを担う人づくりを進め
「いきいきとしたまち」

教育は家庭、学校、地域の三者で

子どもたちの育成なしには、地域の将来はありません。教育は家庭だけでなく学校、地域の三者で行っていくものであります。瀬棚町は、豊かな自然環境や農・水産業のほか、伝統的な祭りや萩野吟子といった歴史・文化などの「地域教育資源」が数多くある町です。

子どもたちの総合的な考え方や判断力を高めるため、教育委員会とともに地域の教育力を活用しながら総合的な学習を進め



総合的な学習の時間を利用した「お米出前教室」

ていきます。そのために、教員研修や教育研究所の支援など、教育環境の向上についても努めていきます。

商業高等学校においては、少人数のきめ細やかな教育と、即戦力につながる高度な教育施設を活用し、「雇用情勢の厳しさにも立ち向かえる、地域に密着した質の高い人材を、これからも輩出して行きます。

学校給食事業については、これまでどおり有機栽培米を活用するなど、児童・生徒の健康面を支え、生産から調理につながる食の大切さを伝えていきます。また、今年から調理部門を民間に委託して、調理などの効率化を進め、より質の高い給食を提供して行きます。

人材育成と生きがいあるまちづくりを進めます

社会教育については、生涯学習の観点に立ち、自ら考え、行動する意欲ある人材の育成を進めます。学校だけでなく、ともに教えあい、学びあひながらまちづくり活動の原点となる人材育成のため、社会教育や体育団



今年、妻沼町とハンフォード市から訪問団が来町します

体と協力しながら、各種の生涯学習やスポーツの環境を整えて、生きがいのあるまちづくりを進めて行きます。

今年、姉妹都市ハンフォード市からの派遣団と、萩野吟子生誕地の妻沼町からの少年少女派遣団が瀬棚に来町します。で、お互いの向上を目指した交流を行って行きます。

また、子どもたちが環境問題について体験を通じ関心を持てるように、「B & G 海洋環境教室」を開催します。この事業はB & G 財団からの助成を受けて実施するもので、小学校の「総合的な学習」と連携をしながらさまざまな体験学習を行って行きます。

主な仕事

教育環境

●学校の給食3,263万円 ●教員の研修54万円 ●教育研究所事業53万円

健康管理

●児童生徒の健康管理（健康診断など）133万8千円 ●教職員の健康管理（健康診断など）63万6千円

高等学校

●パソコンなどのリース725万8千円 ●ハンフォードなどへの見学旅行285万5千円 ●姉妹校との交流8万円

教員住宅

●教員住宅の維持整備など242万円

社会教育

●わんぱく探偵団の開催2万5千円 ●団体活動育成助成（少年、青年、女性、文化）70万円 ●成人式の開催13万円 ●B & G 海洋環境教室20万円

スポーツ振興

●団体活動育成助成56万9千円 ●高校サッカー合宿の助成17万円 ●檜山管内スポーツフェスタ派遣24万円 ●B & G 海洋体験学習の派遣53万円 ●B & G スポーツ北海道大会の派遣18万

円 ●パークゴルフ場の管理54万9千円

負担軽減

●バス定期運賃の助成（瀬棚～檜山北高）101万8千円（市街～須築）35万1千円 ●児童生徒の就学援助243万9千円 ●スクールバスの運行1,093万7千円 ●PTA活動の助成38万円

交流

●モニターツアーの開催25万円 ●妻沼町少年少女訪問団の受入30万円 ●ハンフォード訪問団受け入れなどの国際交流179万円